



第四金曜日は映画の日

上映会 11/25 (金)

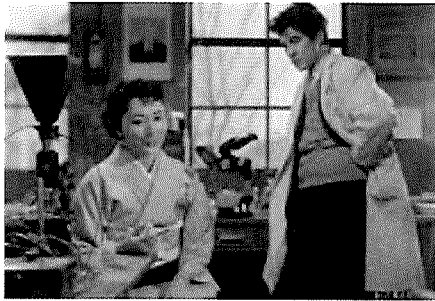
名匠 川島雄三監督 大傑作の予兆を感じる2作品



とんかつ大将 10:30

1952年、94分、監督・脚本：川島雄三、出演者：佐野周二、津島恵子、角梨枝子、高橋貞二、三井弘次

長屋に住む青年医師・荒木勇作は、俗称「とんかつ大将」と呼ばれみんなに親しまれていた。自分の住む長屋が悪徳弁護士の手で取り壊されるのを阻止しようと反対運動を起こすのだが…。没後に作品が再評価されている川島雄三監督の松竹時代初期作品。



あした来る人 13:00

出演：山村聰、三橋達也、月丘夢路、
新珠三千代、三國連太郎

1955年、115分、監督：川島雄三、原作：井上靖、
脚本：菊島隆三、音楽：黛敏郎、助監督：今村昌平

朝日新聞社連載、井上靖の同名小説の映画化。若き女性の悩みと抵抗、新しき時代の愛情のあり方を描いた文芸巨編。日活製作再開一周年記念映画であるこの作品は、映画界の第一線級のスタッフ、キャストで編成されている。

参加費 1作品につき 800円 「映画村会員」
「シニアネット会員」の方 500円

会場：NPO法人 シニアネット仙台「一番町サロン」 TEL 022-266-5650
仙台市青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル8F

せんだい映画村会員募集

日本映画の名作を観賞するグループ「せんだい映画村」は、会員を募集しています。ときおり映画の創り手を囲みながら、茶話会や映画講座、映画塾も開講しております。随時受け付けしておりますので、上映会場でお申し込み下さい。
*入会金：1年・1000円（毎月の通信費にあてさせていただきます）

氏名

〒・住所・電話

上記にご記入いただき、上映会当日にお申し込み下さい。

連絡先

〒984-0061

仙台市若林区南鍛冶町159-1

phone 070-5323-1939

せんだい映画村事務局

小津安二郎 監督

1953年

東京物語



136分/松竹/監督・脚本：小津安二郎、脚本：野田高梧、出演：笠智衆、東山千栄子、原節子、杉村春子、山村聡、三宅邦子、香川京子、東野英治郎、中村伸郎

日本映画を代表する傑作の1本。巨匠・小津安二郎監督が、戦後変わりつつある家族の関係をテーマに人間の生と死をも見つめたドラマ。故郷の尾道から20年ぶりに東京へ出てきた老夫婦。成人した子どもたちの家を訪ねるが、みなそれぞれの生活に精一杯だった。唯一、戦死した次男の未亡人・紀子だけが皮肉にも優しい心遣いを示すのだった…。いまでは失われつつある思いやりや慎ましさといった“日本のこころ”とでもいうべきものを原節子演じる紀子が体現している。東山千栄子演じる老母が亡くなり家でひとり侘しくたたずむ笠智衆演じる老父を捉えたショットは、映画史上に残る名ラスト・シーンのひとつ。

講演 「昌二のことは忘れて、いつでもお嫁に行っておくれ…」
—小津映画の不在の中心としての
“次男”について—

東北大学国際文化研究所教授 寺本成彦さん

専門は映画、フランス文学。論文に『モーパッサン「野あそび」からジャン・ルノワール「ピクニック」への道程』、『寺山修司におけるロートレアモン—書物からスクリーンへ、スクリーンから街へ—』など。仙台アリアンス・フランセーズでシネクラブを共同主宰。

*同監督作品の「麦秋」「戸田家の兄弟」を部分上映しながら講演頂きます。

12/2 (金) 9:30 開場
仙台市市民活動サポートセンター

前売券 1000円 当日券 1300円

10:00	寺本成彦さん講演
10:50	1回目 東京物語 上映
14:00	2回目 東京物語 上映
16:30	寺本成彦さん講演

映画村会員 700円 (前売券 桜井薬局セントラルホールで購入出来ます。)

主催・問い合わせ せんだい映画村事務局 070-5323-1939 大石